



女性の就業意識に関する実態調査結果について

北陸経済連合会では、2020年8月に「女性就業意識に関する実態調査」を実施しました。この程、その結果がまとまりましたので、お知らせいたします。

記

1. 調査目的 「北陸は女性が働きやすい地域」とのブランド作りに取り組むため、女性の若年層流出が顕著である要因などを把握する。
2. 調査地域 北陸三県（富山・石川・福井）ならびに首都圏
3. 調査対象および回答数
北陸三県（富山・石川・福井）出身の女性
＜北陸三県在住＞フルタイム勤務者 1304 票
（ずっと北陸在住 840 票・Uターン 464 票）
＜首都圏在住＞フルタイム勤務者 177 票・学生 36 票
4. 調査期間 2020年8月5日（水）～8月20日（木）
5. 調査結果

①就職先選びで重視するのは、北陸勤務者・首都圏勤務者ともに「結婚、出産してもずっと働けること」は同じ。その中で北陸勤務者の特徴は、「結婚、出産してもずっと働けること」の満足度が高い。一方で首都圏勤務者の特徴は、「希望の職種があること」「やりがいのある仕事が与えられること」「男女平等賃金」を重視する傾向が北陸勤務者よりも強く、満足度も高い。

◆現在の組織（会社）を選んだ理由

北陸勤務者：1位「北陸で働きたかった」2位「結婚・出産してもずっと働けそうだった」
3位「知名度が高かった」4位「やりたい仕事だった」

首都圏勤務者：1位「首都圏で働きたかった」2位「結婚・出産してもずっと働けそうだった」
3位「やりたい仕事だった」4位「社風が合っていた」

◆働いていく上で重視すること（重視点）

北陸勤務者：1位「結婚や子供が生まれても勤め続けやすい」2位「やりがいのある仕事が与えられる」3位「希望の職種がある」4位「男女平等賃金」

首都圏勤務者：1位「希望の職種がある」2位「結婚や子供が生まれても勤め続けやすい」
3位「やりがいのある仕事が与えられる」4位「男女平等賃金」

◆現在の組織（会社）に対する評価（満足点）

北陸勤務者では、「結婚や子供が生まれても勤め続けやすい」が極めて高い。

北陸勤務者（ずっと北陸在住）（72.6%）、北陸勤務者（Uターン）（72.0%）、
首都圏勤務者（58.2%）

首都圏勤務者では、「女性の積極的な採用」（56.5%）、「希望の職種がある」（54.2%）、「男女平等賃金」（53.7%）、「やりがいのある仕事と与えられる」（53.1%）が高い。

◆管理職の受諾意向

首都圏勤務者の方が高く、昇進に積極的な傾向がある。

受けてみたい：北陸勤務者（ずっと北陸在住）（22.3%）、北陸勤務者（Uターン）（28.9%）、
首都圏勤務者（34.8%）

②首都圏勤務者は、北陸の企業や仕事に関する情報が少ないため、北陸で希望の職種や、やりがいのある仕事に就けるかを不安視している。

◆【首都圏勤務者】

北陸に戻らなかった理由：「首都圏にいた方が（プライベート・仕事面）で刺激が得られそうだった」が高く、「地元は閉鎖的な感じがして嫌だった」（59.3%）と半数を超える。

北陸に戻る際仕事面で気になること：「希望の職種があるか」「結婚や子供が生まれても勤め続けやすい雰囲気か」「やりがいのある仕事と与えられるか」が高い。

◆【北陸勤務者（Uターン）】

北陸に戻ったきっかけ：「親の希望」（28.0%）、「地元が好きだった」（25.6%）が高い。

北陸に戻る際仕事面で感じたこと：「仕事の選択肢が少なかった」（57.1%）、「仕事（企業）に関する情報が少なかった」（42.2%）が高い。

◆【首都圏学生】

北陸に戻らない理由：「やりたい仕事はこちらにしかない」（46.2%）が最も高く、「首都圏にいた方が（プライベート・仕事面）で刺激を得られそう」「年収が高そう」「地元の閉鎖的な感じが嫌」が高い。

北陸の企業に対するイメージ：「どのような企業があるかわからない」（69.4%）、「おもしろい企業が多い」（13.9%）、「グローバルに活躍している企業が多い」（8.3%）

今回のアンケート調査にご協力頂いた多くの女性の皆様に感謝申し上げます。

北陸経済連合会としては、今後、北陸地域の各企業が更なる女性活躍に積極的に取り組んでいただくことを目指すとともに、各企業での女性活躍を地域にPRすることで、「北陸は女性が働きやすい地域」とのブランド作りにチャレンジして参りたいと考えております。

*詳細は北経連HP掲載の「女性の就業意識に関する実態調査結果」をご参照下さい。

URL：<http://www.hokkeiren.gr.jp/>

【問合せ先：北陸経済連合会 高田 TEL：076-282-9583（直通）】